

ICTの推進について



大塚 正義 議員

質問…「スマート農業の推進について」近年大きな注目を集めているのがトラクターの自動化です。自動化を行うために重要なのがGPSの測位システムです。固定基地局を併用すると誤差を3センチ程度、さらに補助局を併用すると2ミリ程度まで補正することができます。この高い精度があれば各種農作業にも相当利用することが可能です。

農業人口が減少する中、人手不足を補うことに期待できます。このスマート農業の推進を、中でも自動化を市がイニシアチブを取り進めるべきと思います。市の現在の取組、また今後の取組について伺います。

自の取組には現在至っていませんが、関連情報の収集に努め、スマート農業の国庫補助事業などをPRしているところです。今後、さらなる情報収集に努め、県や関係機関と連携を図りながらスマート農業の推進に努めてまいります。

一般質問



前田 則隆 議員

要配慮者の逃げ遅れ防止の取り組みについて

質問…コロナ禍での災害時要配慮者支援計画について伺います。答弁…災害対策基本法の一部改正により、災害時の避難に特に支援を要する方の名簿の作成が義務づけられており、同意を得られた方の個別計画を作成し、消防、警察、社会福祉協議会、民生委員・児童委員、自治会長、見守り隊等の避難支援関係者にあらかじめ情報提供をすること

で平常時から避難行動要支援者の見守り体制の整備に努め、個々のニーズに応じた避難支援を行うこととなっていますが、本市は要介護1以上の方、身障者1、2級の方、療育手帳A1、A2の方、精神障害者手帳1級の方、その他75歳以上の一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯を対象に計画を策定しています。

質問…要配慮者支援計画の課題について伺います。答弁…同意されない方は避難支援が見つけられないのと避難支援課題です。また、個別計画が作成された名簿は対象者の10・3%という状況で本年から要支援者システムを定期的に更新し、今後は市のホームページや広報で周知を図り、市民の認知度を高めていきたいと思えます。